

## 袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	平成29年 8 月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成29年 8 月 24 日（木）午後 1 時 30 分
会議時間	午後 1 時 30 分から午後 3 時 23 分まで（1 時間 53 分）
場 所	袋井市立浅羽西公民館ホール
出 席 者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 豊田君子 委員  (計：4 人)
欠 席 者	大谷純應 委員
傍 聴 者	無し
当局出席者	大河原幸夫 教育部長 早川俊之 教育企画課長 川村佳典 おいしい給食課長 乗松里好 すこやか子ども課長 鴻野元希 育ちの森所長 平野邦孝 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 袋井図書館長 伊藤千ひろ 教育企画課総務企画係長 (合計：9 人)
会議に付した 事件	別紙「平成29年 8 月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

平成 29 年 8 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成 29 年 8 月 24 日（木）午後 1 時 30 分開会

場所：袋井市立浅羽西公民館ホール

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 会議録の承認

日程第 4 教育長報告

日程第 5 教育部月例事業報告

日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第 40 号 平成 29 年度袋井市一般会計補正予算（第 2 号・民生費・教育費）について

協第 41 号 準要保護児童生徒就学援助に係る新入学児童生徒学用品費等の入学前支給について

協第 42 号 袋井市歴史文化館の臨時開館について

協第 43 号 袋井市郷土資料館・近藤記念館の防火管理者の任命について

協第 44 号 澤野医院記念館の防火管理者の任命について

（2）報告事項

報第 98 号 幼小中一貫教育の推進状況について

報第 99 号 寄附品「ワンタッチテント」等の受納について

報第 100 号 「親子でつくる学校給食メニューコンクール」（主催 静岡県教育委員会）審査結果について

報第 101 号 子ども早期療育支援センター「はぐくみ」利用者アンケート調査結果について

報第 102 号 平成 28 年度における指定管理者の管理業務に対する評価について（笠原老人福祉センターほか 2 施設）

報第 103 号 平成 28 年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（月見の里学遊館）

## 日程第7 その他

### (1) 連絡事項

- ア 幼小中つながる通信 vol.15～vol.21
- イ 第2回新袋井フォーラム講座「絵画への思い～心象画で表現する世界～」  
チラシ
- ウ 平成29年度徳育推進心ゆたかな人づくり講演会（第3回新袋井フォーラム講座）・第14回袋井市子ども読書活動推進講演会「絵本と鳥の巣の不思議」チラシ
- エ 給食配送車に可愛いイラスト
- オ 中部学校給食センター探検ツアーを開催
- カ 9月6日「温室メロンの日」の学校給食へのクラウンメロンの提供とメロン生産者との交流事業等の実施について
- キ 平成29年度コミュニティスクール推進研修会について
- ク 浅羽佐喜太郎公記念碑パンフレット
- ケ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成29年9月号

### (2) 次回定例会等の予定について

9月定例教育委員会 9月26日（火）午後1時30分～ 302会議室

### (3) その他

## 日程第8 閉会

## 平成 29 年 8 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

### 1 開会

#### ●鈴木教育長

それでは、ただ今から、平成 29 年 8 月袋井市教育委員会定例会を開会させていただきます。本日は、大谷委員が欠席です。

### 2 会議録署名委員の指名

#### ●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、豊田君子委員 及び 上原富夫委員 を指名いたします。

### 3 会議録の承認

### 4 教育長の報告

#### ●主な報告事項

- ・中学生未来会議（8月8日、9日）
- ・行政経営会議（8月10日）
- ・平成29年度第1回総合教育会議（8月21日）

その他は資料のとおり

### 5 教育部月例事業報告

#### ●教育企画課

- ・袋井北小学校 校舎増築工事 起工式（7月31日）
- ・周南中学校 校舎増築工事 起工式（8月18日）
- ・平成29年度 第1回総合教育会議（8月21日）

#### ●おいしい給食課

- ・中部学校給食センター探検ツアー（8月10日）
- ・食物アレルギー研修会（保護者向け）（8月21日）
- ・平成29年度衛生研修（給食従事者向け）（8月24日）

#### ●学校教育課

- ・イングリッシュデイキャンプ（7月26日～28日、8月1日～10日の中の5日間）
- ・広島平和記念式典中学生派遣（8月5日～6日）
- ・中学生未来会議（8月8日～9日）

#### ●すこやか子ども課

- ・第1回袋井市子ども・子育て会議（8月2日）
- ・第2回就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会（8月23日）

●育ちの森

- ・子ども理解講座（8月1日）

●生涯学習課

- ・『Magic Town』完成披露上映会 ～スターライトシネマ in Fukuroi～（8月18日）

[質疑・意見]

●上原委員

イングリッシュデイキャンプについて、成果、子どもたちの反応等はどうか。参加した教員の感想などからその他教員へのフィードバックはされているか。

●学校教育課長

参加者には、その場で感想を書いてもらいました。現在とりまとめをしています。

## 6 議事

●鈴木教育長

議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取り扱いについてお諮りいたします。協第40号については、袋井市議会の議決を経るべき議案に関することであるため、非公開としたいと思いますが、異議はありませんか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

それでは、協第40号を非公開といたします。

### 【協議事項】

- (1) 協第40号 平成29年度袋井市一般会計補正予算（第2号・民生費・教育費）について

(非公開)

- (2) 協第41号 準要保護児童生徒就学援助に係る新入学児童生徒学用品費等の入学前支給について

●教育企画課長

本件は、国の要保護児童生徒就学援助制度について、補助要綱が平成 29 年 4 月より改正となり、小学校入学前の就学予定者についても国庫補助の対象となりました。市議会でもできるだけ早い時期に、準要保護児童生徒への支給時期を早めて、新入学用品費の支給を就学前に支給できるように準備を進めていくと答弁いたしました。本市では現在、国の補助要綱の制度を使って援助費の支給をしておりますが、市独自の補助要綱を作成して支給したいと考えております。これまでは、小学校入学後に認定をして、7月に新入学用品費を学校を通して支給してきましたが、新入学用品は、実際は前年度の2月から3月に購入しておりますことから、今後につきましては、前年度の12月末までに認定をして、新入学用品の購入に間に合うように1月末に支給をしてまいりたいと考えております。また、中学校に進学する者も同じように支給してまいります。スケジュールは資料のとおり。なお、支給後入学しなかった場合については、重複支給がされないように確認をします。

[質疑・意見]

●前嶋委員

入学しなかった場合とはどういうことですか。

●教育企画課長

急な転出となった場合などで、この場合は補助の返還を求めず、転出先の市町に報告して重複支給されないようにいたします。同様に、本市への転入者についても確認をいたします。

●前嶋委員

教科書と同じように証明書のようなものをもって異動すれば間違いがないように思います。

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認することとします。

(3) 協第 42 号 袋井市歴史文化館の臨時開館について

●生涯学習課長

歴史文化館は浅羽支所の2、3階にあり、閉庁時には閉館しておりますが、特別展の展示期間について広く見学者に公開するため、土日5日間を臨時的に開館するものです。なお、この分の振替は行わず、職員が交代にあたります。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認することとします。

(4) 協第 43 号 袋井市郷土資料館・近藤記念館の防火管理者の任命について

(5) 協第 44 号 澤野医院記念館の防火管理者の任命について

●生涯学習課長

本件は、実際に施設管理を行っている学芸員がこのほど防火管理者の資格取得をしたため、任命するものです。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認することとします。

【報告事項】

(6) 報第 98 号 幼小中一貫教育の推進状況について

●教育企画課長

基本方針、取り組みの周知については、資料のとおり。標準カリキュラムの作成については、学習指導要領が定める主体的、対話的で深い学びの授業レベルを確保しつつ、思考力や判断力、表現力等を育成するために思考ツールを加えた標準カリキュラムを作成することとし、英語は作業に入っておりますが、他のものについて進めてまいります。標準カリキュラムの検討委員会のメンバーは資料のとおりですが、作成作業は、小中学校の教員、幼稚園の教員が行っております。まず英語については、昨年度からの英語教育推進プロジェクト委員会で作業を進めています。国語以下、算数・数学までは、校長・教頭がリーダーとなり、教員の自主参加で進めていきます。幼小接続・生活については、平成 30 年からの幼稚園の教育要領に沿った就学前カリキュラム・アプローチカリキュラムを毎月検討しております。徳育、生活指導等については、各学校の魅力ある学校づくり連絡協議会の担当の教員が、各学校の連携の実情を踏まえたカリキュラムをまとめるようにすすめています。各教科等の作業スケジュールは資料のとおり。

運営体制は、各中学校区で統括校長を指名し、校区経営会議などを開催し、校区の目標、経営方針、ランドデザインなどを作成して一貫教育の推進を図ります。小中一貫教育連絡協議会、これは、魅力ある学校づくり連絡協議会を発展的に充実させて、校区のカリキュラムのほうに反映させていきます。市の教育委員会の体制としては、学識経験者、小中学校の代表、幼稚園等の代表、保護者の代表、市民の代表で構成する、幼小中一貫教育推進委員会を設置し、一貫教育の実施状況を確認するとともに、課題や対策の検討、評価指標や調査方法などについても今後御意見をいただく予定であります。10 月に 1 回目、12 月に 2 回目、年 2 回開催する予定です。

[質疑・意見]

●上原委員

外国語とあえて書いているのは意味がありますか。

●学校教育課長

3年生、4年生は外国語活動という授業です。5年生、6年生、中学生は英語の授業となりますので「外国語・英語」と表記しています。こちらについては思考スキルというよりも、平成32年度からの小学校の3・4年生の外国語活動と、5・6年生の英語の授業、このつながりをどのように一貫していくかということを考えています。

●上原委員

ここでいう外国語と英語は違いますか。

●学校教育課長

やることは英語で同じですが、3・4年生の外国語活動については書くことをしません。

●鈴木教育長

単純に、文部科学省による教科名の違いです。

●上原委員

2019年度からは全校で一貫カリキュラムを実施とありますが、英語の教員の配置は全校に配置されますか。

●学校教育課長

これは県の方針があり、各学校に1名は英語の免許を持った職員、もしくはそれに準ずる研修会を受講した者を配置するとあります。

●前嶋委員

「幼小接続・生活」とありますが、推進会議には各園から一人ずつ出ていますか。同じ園から2名出ているところもあるようですが。全園から出ていれば、他の園に報告しなくても話がスムーズに進むと思います。確認をして進めてください。

●上原委員

近隣の市町の私立幼稚園などから本市の小学校に入学する場合、将来、関係を維持するということはあるですか。

●学校教育課長

例えば、磐田市ではアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムができていて、実際取り組んでいます。公立私立の幼稚園・保育園がはいて、全市挙げてカリキュラムを作成しました。浜松市も同じです。やっていることは細かな部分は違うかもしれませんが、どこの市も生活面で内容に大きな違いはありません。幼稚園の指導要領、小学校の指導要領をみながら、その接続部分を丁寧にやっていると感じています。他市町からの転入時に、園児・児童の記録的なもの、要録が上がってきますので、それで確認をするとある程度の情報は得られるようになっていきます。

●すこやか子ども課長



本市の特徴として、公立幼稚園の入園率が高いです。本市が68%であるのに比べて、磐田市は46%、掛川市は59%です。昨日開催した幼稚園のあり方検討委員会の中で、私立保育園の先生方にも参加していただいて、公立以外の保育園にそれほどのようにつながっていくのかという質問がありました。アプローチカリキュラムを作成している中で、まずは公立が先行的にやらせていただいて、私立はそれぞれの保育指針に基づいて運営をされていますので、プラスアルファで小学校につなげるためにはこういうことにも取り組んでほしいという部分を民間に広げていくように考えています。

●鈴木教育長

現在、幼稚園の研修に保育所の先生も参加していますか。

●すこやか子ども課長

年間通して、民間の皆さんにも声をかけて、参加していただいています。今、本市がやろうとしていることは、民間にもつながっているところがあります。

**(7) 報第 99 号 寄附品「ワンタッチテント」等の受納について**

●教育企画課長

周南中学校等にワンタッチテントほかを御寄附いただきましたので報告いたします。内容は資料のとおり。

[質疑・意見]

なし

**(8) 報第 100 号 「親子でつくる学校給食メニューコンクール」(主催 静岡県教育委員会) 審査結果について**

●おいしい給食課長

静岡県教育委員会主催で、親子でつくる学校給食メニューコンクールがありました。周南中学校の生徒が優良賞を受賞し、優秀学校賞として周南中学校が選ばれました。

[質疑・意見]

なし

**(9) 報第 101 号 子ども早期療育支援センター「はぐくみ」利用者アンケート調査結果について**

●育ちの森所長

本件は、6月から7月にかけてはぐくみの利用者を対象にアンケートを取ったものです。相談体制について、毎回スタッフが同じでないため難しいという意見がありました。相談しやすい雰囲気を醸成していきたいと思います。その他詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●上原委員

並行半日、並行1日とはどういうことですか。

●育ちの森所長

並行半日は、午前中幼稚園に通い、午後はぐくみに通うものです。平行1日は、終日はぐくみに通っています。給食指導があります。なお、親子教室は、0歳～3歳の幼稚園入園前の親子です。いずれも、親子ではぐくみに通っていますので、親が働いていると利用しにくいということがあります。

●鈴木教育長

部長会議で以前、成人の引きこもりが話題になったことがありました。調査していないので実態はわかりませんが、思った以上に多いのではないかという話でした。現実的には、総合保健センターや、社会福祉協議会に相談に行ったりしています。総合教育会議で育ちの森所長が話したのは、これらをどこか一か所にまとめてはどうかということです。

●育ちの森所長

窓口が分かりにくいので、引きこもりを把握しにくいということです。たまたま民生委員が、あのうちは子どもがいると思うが最近姿を見ないですねとか、その程度です。総務省では、引きこもりは50万人といわれています。ただ、小さなときから支援を受けたり、適性をはかる場所で教育を受けたりしているといいと思います。本市は、特別支援学級の数が多くなっています。それは、子どもの特性を受け入れて、通常級でなく、支援級のほうがいいよと支援室でアドバイスしたりして、それを受け入れている子どもが増えているからだとは思っています。その子たちは、今後つまずきが少なくなってくるのではないかと思います。あとは、高校を中退した子どもたちがどうしているのか少し心配です。多くは通信高校に行って、高校卒業の資格を取ることがありますが、把握できていません。

(10) 報第102号 平成28年度における指定管理者の管理業務に対する評価について  
(笠原老人福祉センターほか2施設)

●すこやか子ども課長

本件は、笠原児童館の指定管理者に対する評価について報告するものです。8ページに△がありますが、これは、児童館が手狭なことから身障者用トイレに物が置かれており、トイレとして使えなかったということです。現在は、トイレとして利用できるように改善しております。また10ページに敷地内に不審者が侵入したということで、防犯カメラの更新の要望があり、対応いたしました。被害はありませんでした。その他詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●上原委員

児童館の利用者は児童ですか。

●すこやか子ども課長

0歳から高校生まで利用しています。最近は中学生が多いです。

●上原委員

職員の避難訓練の他に、利用者を含めた避難訓練の実施についてチェック項目が必要だと思います。

●すこやか子ども課長

チェック項目を作る所管課の総務課に、今後提案していきたいと思います。

●鈴木教育長

笠原児童館の自主事業は、指定管理者がすべて実施しているものか。

●すこやか子ども課長

そうです。

●前嶋委員

指導員が、子どもたちと遊んだりして一緒にいる。

●すこやか子ども課長

常時2名、館長ともう一人がいて、子どもたちの安全確保をしている。

●鈴木教育長

地域の人たちがお手伝いに入っているか。

●すこやか子ども課長

ボランティアで、地域の方がお手伝いするようなことはあるかもしれません。

●鈴木教育長

子ども会とかは入っているか。

●すこやか子ども課長

特に入っていません。

カンガルーのぼっけの、もう少し大きい子どもたちバージョンのような感じですが、異年齢の交流などがあれば、もっと良くなると思います。

(11) 報第 103 号 平成 28 年度における指定管理者の管理運営に対する評価について  
(月見の里学遊館)

●生涯学習課長

本件は、月見の里学遊館の指定管理者に対する評価について報告するものです。4 ページに△がありますが、これは、非常時避難訓練を行っているが、学習棟エリアとプールエリアと別々に実施しているため、施設全体で統一して訓練するように検討を依頼したものです。たまたま警報の誤報があり、バラバラに対応したということがあったため、情報伝達を共有化するということが必要であると、このような訓練を一緒にやるように依頼しました。自主事業については、当該施設ならではの事業がなされているとコメントしてありますが、これは、うさぎホールの優れた音響施設を活かして、室内楽アカデミーなど音楽に親しみ、演奏技術の向上などに力を入れていること、また、併設する公園を利用した事業を行っていることが評価されています。10 ページには3件の苦情がありますが、いずれも対応済みです。その他詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

プールが利用できなかったのは何年度ですか。

●生涯学習課長

平成 27 年度です。6 か月程度かけて天井落下防止工事を行っております。

●鈴木教育長

豊田委員、地域の評判はどうですか。

●豊田委員

地域というよりも、他からくる人のほうが多いような気がします。もう少し地域の方が利用するようなことがあるといいなと思います。

●鈴木教育長

あの公園で遊んでいる子どもがあまり多くないような気がしますが、どうでしょうか。

●豊田委員

グランドゴルフをやったりしています。

●前嶋委員

今は公園の管理は地元の方がやっていますか。

●鈴木教育長

指定管理者がやっています。

●前嶋委員

〇がたくさんあるので A になるような気がしますが、やはり B なんですね。

●教育部長

なかなか A にはならないです。B は契約どおり、やって当たり前の部分です。A にするには、もっと経営努力をした場合です。

## 7 その他

各課から配付資料について説明がありました。

●教育企画課長

第 2 回新袋井フォーラム講座「絵画への思い～心象画で表現する世界～」チラシ

平成 29 年度徳育推進心ゆたかな人づくり講演会（第 3 回新袋井フォーラム講座）・第 14 回袋井市子ども読書活動推進講演会「絵本と鳥の巣の不思議」チラシ

●おいしい給食課長

9 月 6 日「温室メロンの日」の学校給食へのクラウンメロンの提供とメロン生産者との交流事業等の実施について

## 8 閉会

(午後 3 時 23 分閉会)